

## 征韓論と今も続く三国の負の因縁

明治天皇の御心であり、西郷隆盛・福沢諭吉・内村鑑三等の理想である「王道の大義」を世界に示し、欧米列強の侵略を跳ね返し、アジアを植民地から解放することが明治維新の精神であった。この為には日本は富国強兵に励み力をつけると共に、朝鮮と清国と手を結び、協力して、お互いが尊敬し合う関係となり、西洋列国に対峙することを夢見て、朝鮮の清国からの独立を促し、清国には華夷秩序から朝鮮を解放し独立させるよう願った。しかし日本の願いは届かなかった。

これらの歴史の過程で問題となるのは、西郷が野に下る原因となった「明治6年の政変」と「朝鮮の事大主義(強い勢力に付き従うという考え方)」と、「清国の華夷秩序の形骸化と、弱体化した国力を見栄とメンツから改革できない状態にあった」のが三国の不幸の種となり、日清戦争・日露戦争・日支事変・大東亜戦争という負の展開となり、華夷秩序・事大主義という病根は今も朝鮮・韓国・中共と日本の関係に何ら明治時代と変わらぬ各国の負の関係を作り、今も世界に問題を起こしているのは不思議な因縁と言わざるを得ない。

### (征韓論者という誤解)

\* 隣国(李氏朝鮮)の内情

当時の国王・高宗の父・大院君が権力を握っていた。日本との国交樹立を拒否。日本を「洋夷」として侮辱し、不法行為を行った。日本は名誉を汚されたとして征韓論が盛んになる。一方清国は「華夷秩序」をメンツからも守り通す為、朝鮮独立は絶対許されず、軍隊を派遣して介入し日本潰しに走った。



王妃閔妃(みんぴ)が1873年に大院君派から実権を握り、江華(こうか)島砲艦事件を経て、1876年日朝修好条規が締結され開国が成り、清国から自立を果たす。朝鮮は開国により近代化が始まり、軍の近代化など急速に日本に近づいた。

\* 開化派官僚

清国に臣従する属国のまま近代化を推し進める一派・・・(事大党)

日本との提携強化によって近代化を推し進めつつ独立を計る一派・・・(独立党)

1882年(明治15年)大院君の煽動により守旧派の反乱(壬午軍乱 じんごぐんらん)で清国は軍隊を差し向け鎮圧、大院君を清国に幽閉し朝鮮を支配する。これによって閔妃政権は中華帝国に従属しながら近代化を進める意思を固める。その為日本との提携で近代化と独立を進めるグループは窮地に追い込まれた。

清国の朝鮮への締め付けも強くなり、改革も進まなくなり、独立派の金玉均(キム・オッキュン)等は福沢諭吉の援助を受け1884年(明治17年)ソウルでクーデター敢行(甲申政変 こうしんせいへん)し、新政権樹立。しかし、清国が鎮圧に出動し三日で崩落。清国の干渉はさらに強まり、内部ではロシアの軍事力で日本と清国を排除しようとする勢力も増す事態となった。翌年、天津条約締結。



福沢 諭吉

注)天津条約

日本の伊藤博文と清の李鴻章が天津で会談し、1)朝鮮からの両軍の撤退、2)双方とも朝鮮に軍事教官を派遣しないこと、3)将来、朝鮮に出兵する場合は、お互いに事前通

告を行うこと、等を取り決めた条約。

金玉均は日本に亡命し、日・朝・清三国の連帯による西洋列国との対抗を訴え続けたが、李経方(りけいほう)からの誘いにのって上海に行き暗殺され、朝鮮政府は屍体を切り刻み各地に晒す。これが原因で福澤諭吉は朝鮮政府のあまりの残虐非道さに怒りと悲しみの中で書いたのが「**脱亜論**」である。

注) 脱亜論

福澤諭吉が執筆したと言われる評論。1885年(明治18年)3月16日の新聞『時事新報』紙上の無署名の社説。

その後、東学党の乱(甲申農民戦争)をきっかけに日清両国が朝鮮半島に出兵、日清戦争が勃発した。日清戦争とは、結局は朝鮮を独立させたい日本と、従属させ支配を続けたい清国との、日本にとっては気高い義戦であった。この明治の気高い理想は後に人種差別撤廃提案を主張したことにも表れている。もし西郷が生きていたら清国に領土割譲や賠償金は求めず、日露戦争後は明治天皇の御心である王道の日本に立ち戻り、その後の日米関係も変わったものとなったであろう。

注) 人種差別撤廃提案

第一次世界大戦後のパリ講和会議の国際連盟委員会において、大日本帝国が主張した、人種差別の撤廃を明記するべきという提案。この提案に当時のアメリカ合衆国大統領だったウッドロウ・ウィルソンは反対で、事が重要なだけに全員一致で無ければ可決されないと行って否決した。国際会議において人種差別撤廃を明確に主張した国は日本が世界で最初である。

明治四年に岩倉・大久保・木戸・伊藤等は欧米巡遊に出発し、留守役の西郷に廃藩置県の反動からくる社会不安を西郷一人の人徳で乗り切らせた。西郷は外遊組と交わした「約定書」を無視し、地租改正・学制改革・太陽暦の採用など重要政策を次々と決定した。新政府には抱える問題が山積していたが、特に鎖国政策を布いて容易に開国しない朝鮮国に対する不満が国内にくすぶっていた。

注) 岩倉使節団

明治4年から6年まで、アメリカ合衆国、ヨーロッパ諸国に派遣された大使節団。岩倉具視を正使とし、政府首脳陣や留学生を含む総勢107名で構成された。使節団の主目的は友好親善、および欧米先進国の文物視察と調査であったが、各国を訪れた際に条約改正を打診する副次的使命を担っていた。

<主な人物>

全権大使 岩倉具視

副使 木戸孝允、大久保利通、伊藤博文、山口尚芳

書記官 福地源一郎、林董

随行 村田新八、吉井幸輔、牧野伸顕、新島襄

留学生 中江兆民、金子堅太郎、津田梅子、山川捨松(後の大山巖夫人)



左から木戸、山口、岩倉、伊藤、大久保

明治六年、朝鮮は日本を「無法之國」と罵り、貿易活動の制限や種々の日本を貶める行為を行った。板垣退助、後藤象二郎等の強硬派は「すぐにでも居留民保護の名目で軍隊を送るべし」と主張。しかし、外遊組の大久保・伊藤等はアジアの植民地を踏みつけにする西洋帝国主義の苛烈な国家エゴも、国際社会の「やむを得ぬ現実」との思考に傾いており、余りの国力の差を目の当たりにし、今は我慢し、国力を養う時だと危機感を抱き、西郷が単身使節で行き、殺されれば戦争になると恐れ反対したのである。

一方西郷は西洋文明を完全に肯定せず、文明の本質については「日本の精神文明は西洋よりも高次元のものだ」という信念を少しも揺るがずに持ち、自分達の利益の為に未開の国民に残忍非道を行っても恥じないのは野蛮人だとの思想を持っていたので、竹馬の友だった大久保と西郷はもはや思想的に妥協不可能となっていた。西郷の主張は、軍隊を送る前にまず使節を派遣し「公理公道」をもって判断すべし、又派兵すれば必ず戦争になる、初めにそんな事では未来永劫、両国にひびが入る、それ故「出兵の先行」は断じてならぬ。・・・というものだった。これが征韓論者と言えるだろうか。

西郷は板垣や後藤を味方に付ける方便の為、「使節が殺されれば、あなた方の望み通り派兵が出来る。それ故自分を使節とする事に賛成して欲しい」と手紙を出し、賛同を取り付けた。これが征韓論者と誤解された発端となったのである。本当に西郷は感情のみで殺される危険を犯して一人で使節に行くことを主張したのであろうか？

明治四年、情報収集機能整備の為、政府に「兵部省参謀」が組織され、陸軍のトップであった西郷は参謀局による朝鮮の情報と、それに加えて別府晋介、池上四郎や樺山資紀(かばやますけのり)など側近を朝鮮や満州・台湾に派遣し、情報のダブルチェックをする非公式のネットワークを活用して情報収集の定石を正確に押えていた。倒幕時代の戦略的な動き、緻密な戦術的冴えを知る者なら、西郷が何の情報も知識もなく、「丸腰の使節」になることを熱望したとは思わないだろう。世界の状況を正確に見極め、朝鮮王朝は必ず交渉に応ずる見通しと自信を持っていた。又、西郷ほどの「人物」を殺せば王朝の運命はどうなるかはどんな馬鹿でも分かるはずだ。「自分が丸腰で行く」と決意したのは、西郷ならではの強烈な自負と、東洋道德の「礼」の観念をあぐ返も貫こうとした志の顕れであろう。



芳虎作「征韓論之図」

西郷の分析の正しさは明治八年に起った江華島事件で朝鮮側がいつも簡単に折れ開国に応じた事で証明された。大久保らの反対は一体何の意味があったのだろうか。西郷は理想を高らかに掲げつつ、それを実現する手立てを突き詰めて考える現実主義に基く戦略戦術の人であった。西郷の判断は正しかったのである。

もし、日本が昭和の悲劇に行きつく原因を除くとすれば、この時西郷が朝鮮に派遣

されていたら……と思われてならない。そして西郷が生きておれば、日清戦争は起こらなかったか、もし起こったとしても、戦後清国に何も求めなかったであろう。又、日露戦争後日本は何も求めず理想に立ち戻り、白人社会の真似を排し、明治天皇の御心である日本独自の王道に立ち戻っていれば、日本は世界から敬意を受ける道を歩いていたであろう。残念ながらアジアが平和な、静かな世界になる為には支那や北朝鮮・韓国が「王道を歩む」決意なしには現在では不可能となった。西郷の遣韓使節のみが過去の唯一のチャンスであった。

これから先、日本が王道を歩いたとしてもこの厄介な国々が目覚めてくれるという保証はないが、日本は現実的には抑止力を高めつつ自立し、日本独自の王道を歩む努力をすべきであろう。そして隣国とのお付き合いは深入りせず、こちらから求めずが良い。秀吉と明治政府は大陸に進行し不幸を招き、家康は大陸進行を断ち切って260年の平和を得た。賢者は歴史に学び、愚者は経験に学ぶ !!! 平成の未来は、昭和の悲劇に学ぶべきである !!

参考文献 歴史街道 6月号  
西郷 隆盛(北 康利)  
大西 郷 遺訓

平成26年5月30日  
志雲会塾長 有馬 正 能